

合成樹脂事業

事業概況

売上収益

522 億円
 ↑ +13.3%

営業利益

56 億円
 ↑ +44.8%

- 主要な需要業界である自動車などで、主に海外顧客需要が増加したことを背景に、販売数量は前期を上回りました。
- 売上収益は、販売数量増加と原料価格上昇を反映した販売価格の改定により、前期を上回りました。
- 営業利益も販売価格の改定による採算改善、および、販売数量の増加により、前期を大幅に上回りました。

合成樹脂事業での事業合併

JSRの完全子会社であるテクノポリマー株式会社と、宇部興産株式会社、三菱ケミカル株式会社がそれぞれ50%ずつ出資するUMG ABS株式会社とが事業統合したテクノUMG株式会社が2018年4月1日に発足しました。

ABS樹脂を中心としたスチレン系樹脂の国内トップメーカーである2社が事業統合することにより、合成樹脂事業の収益・生産能力・販売拠点などの規模が拡大しました。旧テクノポリマーは自動車用内装材用途に強みがあり、旧UMG ABSは自動車外装用材用途に強みがあります。これまで両者が蓄積してきた製造力、開発力、販売力を活かし、製品の製造効率・コスト競争力をより高めて、国内に安定供給するとともに、差別化製品を増やして海外のハイエンド市場での販売拡大を進めています。

新会社の全体像

